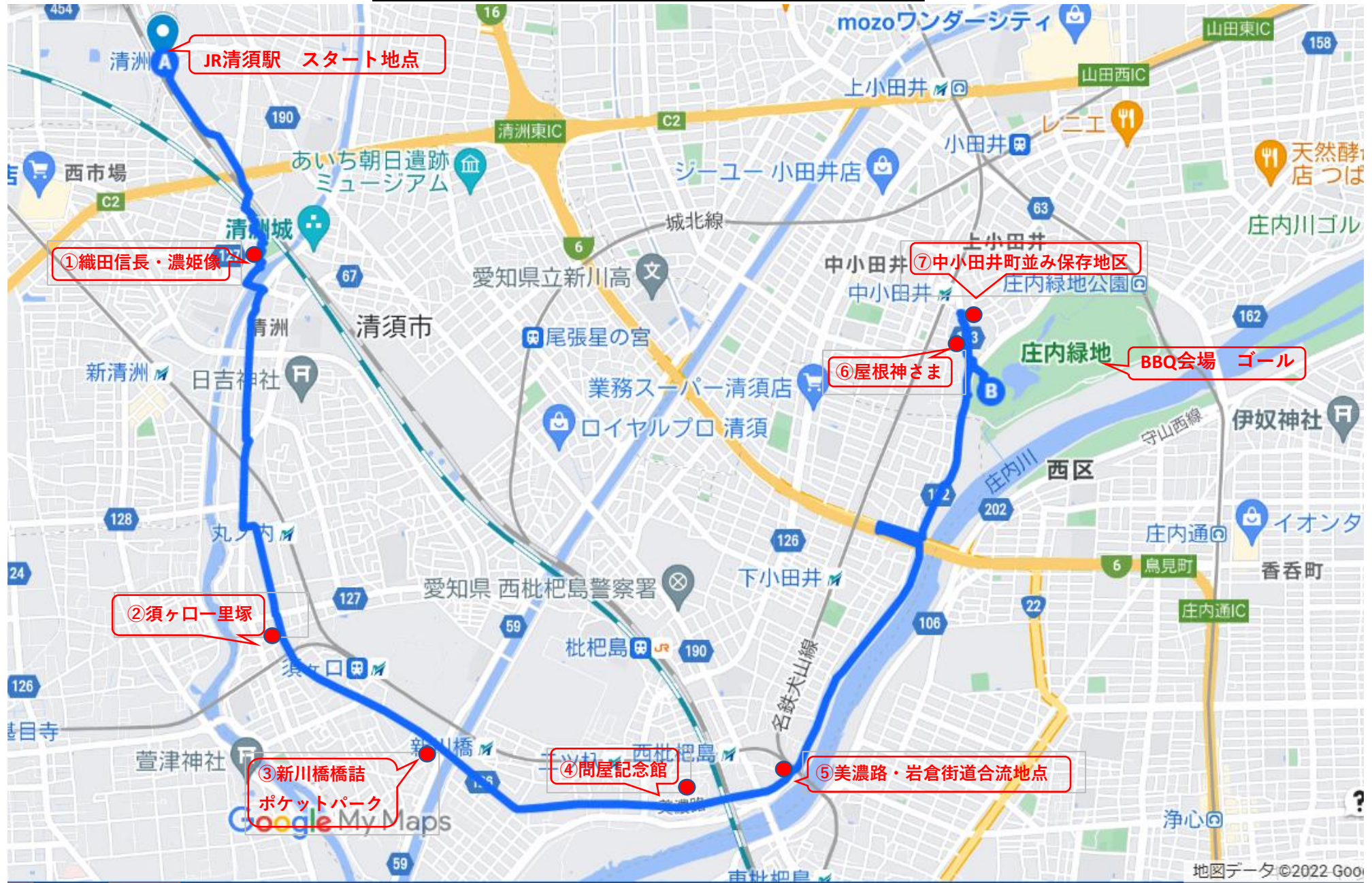


No3 美濃路・岩倉街道





①織田信長・濃姫像

清須公園内にあり、織田信長公26歳の1560年（永禄3年）「桶狭間の戦い」に出陣する姿を模した銅像で、桶狭間の方向を見据えています。



②須ヶ口一里塚

熱田から古渡、江川を経て美濃路3つ目の一里塚跡です。



③新川橋橋詰ポケットパーク

新川橋の親柱や、新川開削頌徳碑・津島街道道標などがある。



④間屋記念館

清須市指定文化財で 枇杷島橋西には、日本三大市場の一つである「下小田井の市」といわれた青物市場があった。



⑤美濃路・岩倉街道合流地点

「にしば夢だいこん」この道標は文政10年(1827年)旧枇杷島橋小橋のたもとに建てられた。美濃路は江戸時代中山道(垂井宿)と東海道(熱田の宮)を結ぶ脇街道として発達しました。



⑥屋根神さま

名古屋地方特有の二階建て民家の一階の屋根に祀られている小さな祠。多くが熱田神宮、右に秋葉神社、左に津島神社を祭って疫病・火難除けの神とされている。



⑦中小田井町並み保存地区

小田井村は9世紀にはすでにあったと推定されます。寛文7年(1667年)名古屋城から岩倉へ至る「岩倉街道」が通じ、枇杷島の青物市へ搬送路として賑わい、青物市の神様に味噌・油などの生活用品を購入しました。